

## 令和4年度 学校関係者評価結果

実施月 : 令和5年3月

学校関係者委員: 医療施設関係者 1名

教育に関し知見を有する者 2名

学校職員 1名

### 1)令和4年度教員による授業評価

今年度より実施、評価の低い項目について、新人教員 3 名が今年初めて授業を実施したためである。新人教員は、ゆとりの無い中取り組んだ結果であると考えられる。授業関する項目は前向きに積極的な姿勢が見られ高い評価結果となっているため、2年目に期待したい。

### 2)令和4年度学生による評価

(教育理念)今年度、教育理念・目標の浸透に努力した結果であると評価できる。

(シラバス)iPad にシラバスが入っているためすぐに確認できる環境である。

(臨地実習)臨地実習病院の指導者との関係性に教員が苦慮していることが伺える。

(実習評価)実習評価に納得していない学生がいる結果である。

(国家試験)1年次に実施している、模試が国試対策と理解していない可能性がある。

(進路)今年度より、2年次から指導することとしたため、来年度の評価に期待する。

(健康管理)専任の教員を配置しケアしていることは評価できる。

(生活相談)チューター制度、カウンセリング体制の整備を整えている

(図書)電子図書を300冊整備している。特に実習中の活用を目的としている。

### 3)令和4年度教員による学校運営評価

(教育理念)新カリキュラムを作り上げたメンバーは理解しているが、メンバー以外の教員が認識できるようにしていく環境を作っていく。

(教育課程)基礎実習では、実習時間を増やし1人当たり2病院見学することで、それぞれの病院の役割を理解し、学生の視野が広がったと感じている。

(教授)統合実践Ⅱでは、学生の気づきに焦点をおいて進めていく。

教員の協力体制を整えるために、必要人数の明確化と教務主任からの依頼を行う。

(経営)各担当の業務マニュアルが乱立しているため、統一したものを整備していく  
財政では、学生確保に苦労している。実習を優先し、1学年42名以下としていることと物価高により経営が難しくなっている。そのため、物品の購入など計画的に行う必要がある。

学生生活の支援では、休学中の学生にも、ケアを行っている

(国際交流)今年度留学生を受け入れた。学業については放課後教室を実施し支援していく。